

## 教育プラン 基本施策体系と重点課題について（案）

## ○7つの重点課題

調布市の教育を取り巻く社会状況の変化及び国や都の動向、市特有の状況など直面する多様な要因から、調布市教育委員会が4年間に取組むべき課題を以下の3つの視点から捉えた重点課題。（一部基本施策と重複する課題あり）

視点① 児童生徒の安全安心に係る重点課題

視点② 体系的な施策の位置づけに依らない今日的な重点課題

視点③ 施策が複数分野において横断的に及ぶ重点課題

## 1 教育委員会制度改革への対応②

- ・新教育長の設置，委員長の廃止に伴う体制整備と会議の運営
- ・市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」の設置運営などの課題への対応

## 2 特別支援教育の充実③

- ・特別な支援を必要とする児童・生徒の増加に伴うソフト・ハード面での充実などの対応

## 3 いじめ・不登校・子どもの貧困対策①③

- ・子どもたちの安全・安心に関わる学校・家庭・地域・関係機関が連携した取組

## 4 食物アレルギー事故防止への対応①③

- ・安全・安心に関わる取組
- ・給食提供の今後の在り方と連動
- ・教職員研修，給食指導，医師会との連携など横断的な取組課題

## 5 児童・生徒数の増減に係る変化への対応③

- ・人口推計等による児童生徒数の増加見込みと減少見込み両面の対応が課題
- ・ソフト面では学区域や適正な学校規模，ハード面では施設整備が課題
- ・大規模団地（多摩川住宅）等建てかえ・開発に伴う対応，五中体育館整備

## 6 学校施設老朽化・長寿命化への対応と防災機能の整備（5の課題と連動）③

- ・施設の老朽化・長寿命化は喫緊の課題
- ・避難所機能の充実も災害時の市民の安全安心に関わる重要課題

## 7 教育分野におけるICTの利活用促進②③

- ・学校の教員用パソコンの整備等の環境整備→教材の共同開発など校務の効率化
- ・学校パソコン教室→タブレット端末へのきりかえによる施設・設備等の効率化
- ・社会の変化に対応する情報・メディア教育の推進や特別支援教育への活用
- ・学校図書館と市立図書館との連携
- ・生涯学習分野におけるインターネット・スマートフォン・タブレットなどの媒体の利活用による市民サービスの向上

点検評価の対象（案）

	方法	メリット	デメリット
1	施策展開の4つ視点のうち、市の施策評価と重ならない②③のみ行う方法 ①学校教育（→施策評価） ②学校環境 ③学校・家庭・地域の連携 ④生涯学習（→施策評価）	・施策評価との重複が避けられる。 →事務の効率化	①学校教育 ④生涯学習を教育委員会で評価しないこと
2	重点課題のみとする方法	・重点課題に絞られ、評価しやすい、市民にわかりやすいなど	・プランの一部評価となること ・施策評価と重複する部分有
3	基本プランの施策ごとに行う方法	・プラン全体の評価となること	・施策評価とは重複する部分有
4	これまでどおり主要事業ごとの点検評価	・事業数は現状より減少	・細かな点検評価としては変わらない。
5	単年度ごとに評価対象を選定する方法	・対象数は絞られる	・年度別の比較や進捗把握が困難

○教育分野においては、安定的かつ継続的に実施する施策や事業が多く、これまでのようにすべての単事業ごとに点検評価を行っても、事務の改廃につながらない、取組内容に改善も見られない、職員の負担が大きいなど、点検評価を行う意義が薄い。